

平成 27 (2015) 年度 ラテン・アメリカ政経学会総会 議事要録

平成 27 年 11 月 15 日 (日) 13 時 00 分～14 時 00 分

議事に先立って、山本純一会員を議長に選出し、規約に定めら得た定足数を充足していることを確認した。

1. 理事長から資料 1 のとおり平成 26 年度事業報告があり、承認した。
2. 高橋理事 (会計担当) から資料 2 にもとづいて平成 26 年度会計報告があり、松井監事から会計処理が適正に行われていた旨の監査報告があった。創立 50 周年記念出版『ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック』学会買取分 200 冊の取り扱い状況と大会開催校への補助 15 万円の支出報告の必要性に関する監事からの質問に対して、高橋理事から『ハンドブック』の会員と関係機関への配布と事務局保管の状況、大会開催校補助は支出報告を必要としない旨説明があり、会計報告を了承した。
3. 理事長から資料 3 に基づいて平成 26 年度事業計画の説明があり、原案どおり承認した。
4. 理事長から資料 4 に基づいて平成 26 年度予算の説明があり、原案どおり承認した。
5. 海外出張のため退任する佐野聖香監事の後任に咲川可央子会員を選出した。任期は佐野監事の残任期間とする。
6. 『ラテン・アメリカ論集』に関する規程・編集要領等の改定について、学会誌編集委員の山崎理事から資料 6 にもとづいて説明があり、原案通り承認した。規程・編集要領等の改定とともに、以下の事項についても合意された。
 - ゲラ校正についての印刷会社とのやりとりは、紙媒体を希望する執筆者には紙媒体での朱入れとし、PDF ファイルを希望する執筆者には PDF ファイルでの朱入れとする。
 - 投稿論文の審査手続きについて、「原則として匿名の審査員 2 名を選定し」と規程されているが、この「原則として」とは、編集委員会が必要と判断した場合に 3 人目の審査員への審査依頼が可能であると解釈する。
 - PDF ファイルは、すべての論考 (依頼論文、論文、研究ノート、調査報告、資料・機関紹介、書評) について、刊行と同時に著者に進呈することとするが、著者は刊行後 1 年間は個人のホームページや所属機関のホームページ等にアップロードしないこととする。学会ホームページには、刊行の 1 年後にアップロードする。E メールで個人的に希望者に送付することは、刊行直後より認めるものとする。
 - 編集委員が投稿できるかどうかについては、検討を続けることとする。現行は規定がないため、禁止されていないと理解する。
 - 本論集を学会誌の共通プラットフォームである J-STAGE に登録することを進める。
7. 平成 28 年度に実施する理事選挙の選挙管理委員について、資料 7 のとおり理事会から推薦者を承認した。

8. 次のことについて理事長から報告があった。

(ア)学会誌 No. 49 の発刊について

(イ)会員の入退会動向について、前回総会以降、7名の会員が新たに加入し、6名が退会した結果、今総会時点の会員数は155名であること。

(ウ)平成28年度の全国大会を東京大学で開催すること。

審議および報告の後、研究奨励賞の表彰式が行われ、選考委員会安原毅委員長の選考経過報告を理事長が代読し、宮地隆廣会員に研究奨励賞が授与された。引き続き宮地会員が受賞記念スピーチを行った。

以上